
平成 28 年 北海道建築士会 まちづくり委員会WEB会議-1 議事録

開催日時：平成 28 年 5 月 14 日（土） 14：00～17：00

開催場所：事務局会議室（札幌市中央区大通西 5 丁目 大五ビル 6 階）又は各自の自宅や職場

出席者：＜担当常務兼委員長＞針ヶ谷 拓己（札幌）

＜副委員長＞清水 浩史（旭川）、浅沼 直樹（札幌）

＜委員＞若浜 崇（桧山）、北野 学（名寄）、山田 直登（空知）、高橋 真美（北見）

＜協議事項＞

1. まちづくりフォーラムについて（針ヶ谷）【14：00～16：00】

○担当 ◎針ヶ谷、○山田、清水、若浜

○日時 平成 28 年 6 月 25 日（土）11：30～16：30（11：00 受付）

※委員の集合は 10：00（苫小牧信用金庫本店）

○場所 集合：苫小牧駅南口

会場：苫小牧信用金庫本店 2 階市民ホール（苫小牧市表町 3 丁目 1 番 6 号）

○テーマ 「苫小牧駅前通商店街のコレマデとコレカラ」

○内容 駅前の大型店舗が撤退してしまった苫小牧駅前通商店街にスポットをあて、まちあるきを行うとともに、これまでの歴史や取組みを学んだ上で、今後の苫小牧駅前をみんな考えていく。

11：00 受付

11：30 まちあるき

12：00 商店街にて昼食

13：30 フォーラム開会、あいさつ（針ヶ谷）

13：40 まちづくりフォーラムの紹介

まちづくりフォーラム in 江差 発表者：若浜委員

13：50 取組み発表

（15 分）苫小牧市総合政策部まちづくり推進室長 栗野茂 氏

又は、苫小牧市総合政策部 まちなか再生主幹 武田涼一 氏

（10 分）苫小牧駅前商店街振興組合理事長 秋山集一 氏

（10 分）苫小牧駅前通商店街振興組合青年部 部長 志方光徳 氏

（10 分）合同会社 苫小牧地域振興センター 代表

「活性の火」実行委員長 杉村原生 氏

（15 分）白老町勤務（苫小牧工業高校卒、北海道科学大学卒）

市原直典 氏

14：50 休憩

15：00 ディスカッション（パネルディスカッションとワークショップ）

「中心市街地のアカルイ☆ミライを考える」

①パネルディスカッション（40 分）

②ワークショップ (30分)

③発表 (15分)

16:25 感想 (秋山理事長)、アンケート記入

16:30 閉会

17:00 懇親会

※詳細は別紙による

<協議結果>

◇座席レイアウトについては、最初からグループ形式とする。名簿より事前に席を指定

◇申し込み締切日 6月15日とする

◇フォーラム紹介は in 江差のみとする (時間がないことと、山田委員がディスカッションに専念できるように)

◇パネラーは、苫小牧市 (1名)、商店街 (1名)、苫小牧工業高校 (1名)、
苫小牧支部 (1名) の計4名とする

◇懇親会の余興を考える上でどのようなお店なのか知りたい (ステージは? マイクは?
テーブル席?)

◇懇親会の内容 (支部長あいさつ、委員長乾杯・・・)

◇懇親会会費は4,500円とする (景品は購入しない) 予算オーバーか。

◇会場設営時は駐車場が込み合うので、場合によっては駅前の有料駐車場へ停める

◇まちあるきに苫小牧市博物館の武田正哉学芸員に同行いただき、苫小牧の歴史など説明
いただくけそう。まちあるきコースは苫小牧支部にて検討中

◇商店街での昼食 (支部作成のマップ) はワークショップのグループ別に分けるべきか。
時間に余裕がなければお店の予約や事前注文が必要。本部委員はお弁当で対応するかも
しれない

◇パネルディスカッションでのパネラーへの問いかけ内容

ワークショップへ繋げるものなので、問いかけは、①活動に関する問題点や困っている
ことは何?②まちづくりを成功させるために必要なことは何?③活性化事業はみんな
の意見を吸上げたものか?④近隣商店街との意見の違いはないのか? など

なお、上記討議によりワークショップのお題を3つほど決める

◇ワークショップの内容

上記3つのお題をグループ討議するが、時間が少ないので各グループ1つのお題に
(ファシリテーターが選定) 取り組む

◇発表、総評について

発表は3グループのみ (5分×3=15分) とする。総評 (感想) は秋山理事長とする

○参加者 本部まちづくり委員、各支部のまちづくり委員・地域貢献活動をされている方、
苫小牧の一般市民 (行政や商店街の関係者、まちづくりに興味のある市民)

○担当 【準備】

全体企画 (佐藤・針ヶ谷)、パネル・フリーディスカッション企画 (山田)

まちあるき企画 (苫小牧支部)、フォーラム紹介資料作成 (6/上: 山田、若浜)

会場設営計画 (5/中: 苫小牧支部・針ヶ谷)、懇親会企画 (5/中: 浅沼)

出席者名簿作成 (6/上: 針ヶ谷)、プログラム作成 (5/上: 針ヶ谷)
パンフレット作成 (5/上: 針ヶ谷)、開催案内作成 (4/下: 針ヶ谷 案内送付は 5/下)
依頼文 (4/下: 針ヶ谷)、アンケート作成 (5/中: 清水)、新聞社等への案内 (秋吉)
CPD 申請 (5/中: 秋吉)、会場手配 (苫小牧支部)、懇親会会場手配 (苫小牧支部)

【当日】

総合司会 (北村)、まちあるき担当 (荒川)、受付 (中原、高橋)
モデレーター及びファシリテーター (山田)、資料・前垂れ印刷 (荒川)
撮影係 (清水)、受付会計 (秋吉・高橋・中原)、会場設営 (佐藤・針ヶ谷)
タイムキーパー (浅沼)、照明係 (北野)、パソコン操作・設営 (清水)
パソコン・プロジェクター (事務局)、ネームプレート (事務局)
ハンドマイク (苫小牧支部)

【まとめ】

報告書作成 (6/下: 針ヶ谷)、会誌原稿作成 (6/下: 山田)
アンケート集約 (7/中: 清水) パネル作成 (8/上: 未定)
次年発表資料作成 (10/下: 未定)

2. 景観整備機構について (針ヶ谷) 【16:00~16:10】

○担当 ◎針ヶ谷、清水

○状況 特に新たな動きはなし。景観整備機構として、事務局にて平成 27 年度の報告書を作成し、北海道へ提出済み。

※詳細は別紙による

3. 全道大会 (室蘭大会) 分科会について (針ヶ谷) 【16:10~16:30】

○担当 ◎浅沼、北野、高橋、若浜

○日時 平成 28 年 10 月 1 日 (土)

○場所 蓬瀛殿 (ほうらいでん) 室蘭市宮の森町 1-1 JR 東室蘭駅より徒歩で約 10 分

○テーマ 「歴史×観光×ものづくり ~室蘭のまちづくりから学ぶ~」

○テーマコメント

「鉄のまち室蘭」と称されるほど鉄のイメージが強い室蘭市。ところが、「海」「山」「工場夜景」などの観光資源もあり、また道内への、石炭の積出駅や港として栄えた歴史のあるまちでもあります。かつては人口 18 万人以上を有し、人口密度が北海道内で最も高い活気のあった時期もありましたが、現在は 10 万人を割り人口減少が続いています。

B 分科会では、そのような現在の室蘭において、「歴史×観光×ものづくり」という視点から“まちづくり”を積極的に行っている方々にスポットを当て、その活動内容を学ぶとともに、今後の室蘭はどうあるべきか? そのためには何が必要なのか? など、参加者も含めたディスカッションの場を設け、今後のまちづくりの可能性を探っていきます。

○内容 室蘭で現在まちづくり活動をされている方々をお招きして活動内容を伺い、その後、

未来の室蘭はどうあるべきか？その為には何が必要なのか？など皆さんでディスカッションの場を設けます。閉会後は事前に聞きたい内容を記載したアンケートを回収し、パネラーの皆さんに持ち帰って頂きます。分科会終了後には内容を取りまとめ、室蘭市へ「提案書」として提出を予定。

12：15 受付

12：30 開会挨拶、進行説明

12：40 室蘭のまちの紹介

12：50 室蘭まちづくり活動の発表（3名）

13：20 休憩

13：30 パネルディスカッション・フリーディスカッション

14：25 総括

14：30 閉会

※詳細は別紙による

○スケジュール

- ・現地視察（5/末）
- ・詳細企画（7/下）
- ・パネラーのプロフィール作成
- ・室蘭のまちの動画
- ・アンケート作成（事前にパネラーからご意見を頂戴する）

4. 連合会まちづくり委員会について（針ヶ谷）【16：30～16：40】

全国まちづくり委員長会議及びまちづくり会議への参加（連合会まちづくり委員会が、単位士会に歴史まちづくり部会などの設置を求めていることを補足説明）

- ・開催日 平成28年2月19日（金）・20日（土）
- ・開催場所 笹川記念会館（東京都港区三田3-12-12）
- ・参集規模 47都道府県 64名
- ・内 容 テーマ「歴史的建造物の保存・再生・活用」

まちづくり会議（1日目）では、歴史的建造物の保存・再生・活用における、全国まちづくり委員会での活動15事例の発表が行われ、その後、「歴まち部会の立ち上げの意義とその期待される効果」をテーマにシンポジウムが行われた。まちづくり会議（2日目）は、「求道会館と求道学舎リノベーション事例」をテーマに近角真一氏による講演会が行われるとともに、歴史的建造物の利活用のためのワークショップを、“使用者所有者マッチング”“利用者が決まるまでの資金対策”“建築士の果たせる業務・役割”“他業種との連携”のキーワードに沿って行われた。

全国まちづくり委員長会議（2日目午後）では、ブロック内での単位士会連携のまちづくり活動2事例が発表され、その後、ブロックごとのグループに別れ、まちづくり活動について意見交換会が行われた。北海道東北ブロックでは、単位士会にて歴史まちづくり部会など4部会を設置することは困難である旨の発表を行った。

5. その他（針ヶ谷）【16：40～16：55】

○各支部へまちづくり活動状況のアンケートについて

- ・半分ほどの支部に回答はいただいている状況（別紙）
空知支部はまちづくり活動していないこととなっているが、滝川分会は活動している。改めてアンケートを記載する（山田）
- ・まちづくり活動されている支部へ地域実践活動報告シートの依頼をかけたい
- ・各支部まちづくり組織とのメーリングリストを構築していきたい

○ホームページについて

まちづくり委員会のホームページを大幅リニューアル。活動報告や委員会議事録の公開を行う。
また、各支部のまちづくり（地域貢献）活動事例の掲載も今後進めていきたい。

※詳細は別紙による

《連絡事項》【16：55～17：00】

1. 会誌「北海道建築士」の原稿について

- 6月末締切りでまちづくりフォーラムの原稿依頼があり、山田委員へ依頼